

# ピックアップ

## 災害に備えた 道路網形成

### 釜大街道線と石巻工業港運河線

### 2路線が全線開通



▲開通式では関係者によるテープカットとくす玉開披がありました

市が震災復興基本計画で災害時の避難路に位置付けて整備を進めてきた都市計画道路の「釜大街道線」(延長3,582m)と「石巻工業港運河線」(1,530m)が、3月31日に全線開通しました。市街地間を移動する上での新たな横軸と縦軸を形成し、平時においても生活利便性の向上や物流の円滑化が期待されます。

釜大街道線は門脇字元明神から大街道東二丁目までの市街地を東西に結ぶ路線で、朝夕の交通量が多い国道398号を補完します。令和2年10月までに延長の半分が開通しており、JR石巻臨港貨物線に架かるこ線橋など区間の両端部が完成しました。

石巻工業港運河線は、三河町の臨港道路と蛇田字新谷地前の国道45号を南北につなぐ路線です。途中で門脇流留線、釜大街道線、国道398号と交差しています。大部分は供用済みで、最後に北北上運河と国道をつなぐ橋と取り付け道路が完成しました。

復興財源を活用した最後の道路整備事業となり、開通式で齋藤市長が用地協力や関係機関の支援に感謝を述べました。

図 都市計画課(内線5623)



▲北北上運河に新しい橋がかかり、蛇田地区と大街道地区の行き来がしやすくなりました

令和4年度

# いしのみき圏域SDGsシンポジウム

3月21日開催

Sustainable(サステナブル:持続可能な)  
Development(ディベロップメント:開発)  
Goals(ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

石巻圏域定住自立圏共生ビジョンに基づく取り組みの1つとして、石巻市・東松島市・女川町が連携し、「SDGsと教育」をテーマとした「いしのみき圏域SDGsシンポジウム」を開催しました。

図 SDGs移住定住推進課(内線4224)

#### プログラム

- 開会あいさつ  
石巻市長 齋藤正美  
東松島市長 長瀬美巖  
女川町長 須田善明
- 基調講演  
文部科学省国際統括官付国際戦略企画官 白井俊氏  
「持続可能な社会の担い手の育成に向けて～ESDの視点から～」
- 石巻市立大谷地小学校の取組発表  
「わたしたちのSDGsチャレンジ!2022」
- パネルディスカッション  
「持続可能ないしのみき圏域の未来を創る～SDGsに繋がる教育連携～」  
文部科学省国際統括官付国際戦略企画官 白井俊氏  
石巻専修大学長 尾池守氏  
石巻市教育長 穴戸健悦氏  
東松島市教育長 志小田美弘氏  
女川町教育長 平塚隆氏  
(一社)サステナブルコミュニティ共創機構 代表理事 横山泰治氏

#### 開会あいさつ

開会に先立ち、いしのみき圏域各首長より、挨拶を述べました。



【東松島市 長瀬市長】  
これまでSDGsに取り組んできたことにより、環境未来都市および脱炭素先行地域に選定された。今後は、喫緊の課題である人口減少対策にも力を入れていくべきだと考える。



【石巻市 齋藤市長】  
未来を担う子どもたちに教育を通してSDGsの視点を伝えていくことは非常に大切。認知度が上昇したことから、今後は実際に行動することを重視した取り組みを進めたい。



【女川町 須田町長】  
SDGsに関する価値観のみならず、SDGsの背景をどう共有できるかが重要。日常生活の中で、自分の行動がSDGsに繋がるということが肌で感じられることが大切である。

#### 基調講演



文部科学省国際統括官付国際戦略企画官の白井俊氏より、「持続可能な社会の担い手の育成に向けて～ESDの視点から～」と題した基調講演がありました。ESDとは、SDGsを達成するための教育であり、SDGs達成のためには一人一人の考え方や行動の変容が求められるため、この「変容」に向けて教育が果たすべき役割は大きく、様々な問題を自分事と捉えて考え、行動する力をつけていくことが重要であるとの話を環境や防災、福祉などの具体的なテーマを交えてお話いただきました。

#### 大谷地小学校取組発表



◀環境省主催の「グッドライフアワード」にて「子どもエンパワーメント賞」を受賞した取り組みの発表がありました。「つなぐ・つながる」思いを大切に、たくさんの人たちとの関わりの中で、持続可能な社会のために自分たちで考えて行動している様子やその想いを発表しました。

▶発表は、大谷地小学校6年永沼亜美さん、5年浮津玖音さん、4年三浦愛依さんの3名が務めました。



#### パネルディスカッション



▲(一社)サステナブルコミュニティ共創機構 代表理事 横山氏



▲石巻市教育委員会 教育長 穴戸氏



▲東松島市教育委員会 教育長 志小田氏



▲女川町教育委員会 教育長 平塚氏



▲文部科学省国際統括官付国際戦略企画官 白井氏



▲石巻専修大学 学長 尾池氏

「持続可能ないしのみき圏域の未来を創る～SDGsに繋がる教育連携～」をテーマにパネルディスカッションが行われました。各市町および大学の取り組みについての説明があった後、それぞれの取り組みはSDGsに繋がっていることから、未来を生きる子ども達のために連携していくことの重要性について意見が交わされました。



▲司会は、石巻西高校1年の永沼胡桃さんと桜坂高校2年の遠藤花凜さんが務めました。



シンポジウムの映像は、YouTubeから視聴できます。ぜひご覧ください!

# みんなのた場

スポット  
ライト

SEA WALL CLUB  
防潮堤に壁画で彩り

## 海岸線の美術館

雄勝町上雄勝の無機質な防潮堤に色彩豊かな壁画が描かれ、背後の自然と一体的な新しい風景を生んでいきます。この取り組みを進めたのが一般社団法人「SEA WALL CLUB」(シーウォールクラブ)で、今後も資金を募りながら3.5kmある防潮堤に彩りを増やしていくことにしています。

誰でも自由に鑑賞できる壁画であり、「海岸線の美術館」として昨年11月に開館

しました。芸術家の安井鷹之助さんが2カ月半かけて制作した壁画は高さ7.5m、幅は54.6m。雄勝地区の各浜の風景をスケッチし、それを一つの作品に落とし込んでいます。

安井さんは、雄勝小中学校の校舎壁面にも、児童生徒たちとともに旧雄勝中学校で津波に流されずに残った桜の姿を後世に残す巨大壁画も制作しています。「今回の防潮堤の壁画は、自身にとって最大の作品になった。絵画を通して、さまざまなことに思い

を巡らせ、感じてくれればうれしい」と話します。近くには、地元漁師をモチーフにした作品もあります。館長はクリエイティブプランナーとして、大手広告代理店で活躍していた高橋窓太郎さんです。約4年前に東京都から初めて雄勝町を訪れ、建設中の巨大な防潮堤に衝撃を受けたといいます。高橋さんはクラブを立ち上げ、インターネットでの募金や住民と絵の下地を作るイベントを行ってきました。

クラブでは今後も、住民とともに年に1〜2作品を仕上げていく構想です。高橋さんは「防潮堤をネガティブなものに考えるのではなく、ポジティブに受け止めて、絵画を楽しむ感覚でこの場所に来るきっかけになってくれれば」と思いを込め、さらに違った防潮堤の活用仕方模索していく考えです。

巨大な防潮堤が人を守るためだけではなく、多くの人々が楽しみに地域に溶け込む存在を目指し、シーウォールクラブの活動は続いていきます。



芸術家の安井鷹之助さん(左)と代表の高橋窓太郎さん(右)



浜の風景をモチーフにした巨大壁画

## ささえあいセンター通信 14

### 社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入口です!

コロナ禍による自粛の影響で、人混みを避けて自宅に閉じこもりがちになっていませんか?動かない事(生活不活発)で心身や脳の機能が低下し、フレイル(虚弱)になる恐れがあります。一人一人が住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、フレイル予防に取り組んでいきましょう!

#### ◎フレイルとは?

簡潔に言えば、「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。高齢者におけるフレイルの場合、生活の質が落ちるだけでなく、さまざまな合併症を引き起こす危険があります。しかし、フレイルは早期介入・対策をすれば元の健康な状態に戻る可能性があると言われています。

以下の4つを意識することで予防することができます。

#### ①栄養

バランスのとれたいい食事をとろう。  
★主食・主菜・副菜のそろった食事を心がけよう。  
★太りすぎ・やせすぎに注意

#### ②身体活動

しっかり身体を動かそう。  
★筋トレして「貯筋」しよう!  
★+10〜15分歩いてみよう。

#### ③社会参加

仕事・余暇活動、ボランティアなど積極的に参加しよう。  
★高齢になっても出かける場所や仲間を見つけよう。

#### ④歯の健康

係りつけの歯医者をもって、歯の健康を保とう。  
★毎年、歯科検診を受けよう。  
★よく噛んで食べよう。太りすぎ・やせすぎに注意

特に、③社会参加では、外出自粛など社会とのつながりが減少することで、活動量が低下し、徐々に筋肉も落ちてしまい、フレイルとなる可能性があります。

週1回以上、友人などと交流している方では、活動能力の低下や死亡リスクが低いことがわかっています。また、同世代とのつながりだけでなく、他世代とのつながりもフレイル予防には効果的と言われています。

身体に無理のない範囲で、徐々に運動や社会参加活動の機会を増やし、フレイルを予防しましょう!

図 介護福祉課(内線2437)



<フレイルドミノ>  
東京大学高齢社会研究機構  
フレイル予防ハンドブックより引用

## 石巻市立桜坂高等学校

# 桜坂だより 第36号

こんにちは、桜坂高等学校です。  
今回は、3月に行われた令和4年度卒業式と、4月の令和5年度入学式の様子をご紹介します。



▲答辞の様子



### 令和4年度の卒業生は

新型コロナウイルス感染症拡大のため、6月に入学式を行いました。

入学後も、3年間マスク生活を余儀なくされ、文化祭や体育大会などの中止や規模の縮小、そして何といても修学旅行の中止という、高校時代の思い出がコロナに振り回された学年でした。

生徒代表の送辞、答辞にも、そのことに対する悔しさとともに思い出として語られました。

しかし、学校長や来賓者の祝辞は、「これからの石巻や日本を担う人材として活躍してほしい。」という言葉があり、その期待に応えるように、卒業生の入退場の足取りはとても力強くしっかりとしたものでした。

3月1日、卒業生130名は学び舎を後にしていきました。



▲ホームルームでは、未来にはばたく門出にふさわしい笑顔があふれていました。

### 令和5年度は103名の新入生を迎えました。

ようこそ桜坂高校へ!  
一緒に「夢見る花を」開きましょう。



# 河南 地域で子育て「ありがとう」

パプラで親子交流会



河南子育て支援ネットワーク「スクエア」が主催した親子交流会「ありがとうの会」が3月9日、河南子育て支援センターパプラで開かれ、12組30人が参加しました。地域を挙げて子育てを応援する年間行事「スクエア子育てひろば」の一環で、子どもたちは風船遊びやわらべ歌を使ったゲームなどに挑戦し、楽しい時間を過ごしていました。



# Topic of town まちの話題



# 河北 旧大川中の思い出開封

10年前に埋めたカプセル

旧大川中学校跡地で3月25日、タイムカプセルの開封式が行われました。同校は平成25年3月に閉校し、河北中学校と統合しました。カプセルはその際の在校生20人と教職員によるもので、当日は6人の元生徒たちが駆け付けました。開封すると参加者らは、学校行事での写真や学年ごとの色紙、10年後の自分に宛てた手紙から記念貨幣、成績表までバラエティ豊かな思い出の品に当時を振り返り顔をほころばせました。



# 北上 大地震で被災した人たちのために

北上小・中学校で募金活動

2月6日に発生した大地震で被害を受けたトルコ・シリアを支援するために、北上小・中学校の児童・生徒たちが募金を実施しました。生徒会や計画委員会を中心に、学校内にて被災地支援のための募金への協力を呼びかけました。集まった募金は、北上総合支所に届けられました。



# 石巻 使節船の見張り台モチーフ

JR渡波駅リニューアル

JR石巻線の渡波駅が新しい駅舎に生まれ変わり、3月24日に利用を開始しました。新駅舎は鉄筋コンクリート製で、特徴的な半円形の外観は慶長遣欧使節船サン・ファン・パウティスタ号の見張り台がモチーフです。ガラス張りの待合室は開放的です。昭和14年の建設から83年間利用された木造の旧駅舎は老朽化で役目を終えましたが、その一部が木製のベンチに再利用されています。



# 桃生 緬羊のんびり子育て

メーメー牧場

桃生町太田にある「メーメー牧場」で、今年も緬羊の子どもたちが生まれました。広い牧場を管理するのは今野公さん。のびのびと育てることで、上質なウールが出来上がります。妻の美江子さんはサークルの「ものうウールクラブ」を立ち上げ、毛糸でさまざまな製品に仕上げています。毛刈りは5月ごろに行う予定です。



# 雄勝 ミニまといで火災予防呼びかけ

クラブ員ら150個作成

雄勝婦人防火クラブでは、春の火災予防運動の一環として、3月7日に手作りの「ミニまとい」を製作しました。防火クラブ員13人に広域消防職員や総合支所職員が参加し、出来上がった約150個のミニまといは、防火意識の向上を図るため、防火クラブ員が火災予防を呼びかけながら一軒一軒各世帯を訪問し、手渡しで配布します。



# 牡鹿 港のシンボルが復活

長渡港東防波堤灯台復旧記念式典

3月4日に網地島の長渡港で、宮城海上保安部による灯台の復旧記念式典が開催されました。灯台は平成21年に防波堤補強工事のため一時撤去された後、東日本大震災により工期が延伸となり、令和4年12月に完成しました。灯台には、鮎川小学校3年生の峰岸美虹さんが書き下ろした文字が銘板として掲げられ、長渡港のシンボリックな施設となっています。

